

諫早湾は今!!!

ギロチンから三年

みんな覚えていてるでしょうか？
諫早湾にギロチンが落とされ
たのは三年前の四月一四日の
ことでした。三年間たつたいま、
諫早湾はどうなったのか？現
状を調査したので、報告致し
ます。

まず、行政が開拓と目的に
上げたのが大きく分けて次の
二点です。

1 防災効果
高潮災害を防ぐとともに背
後地の排水不良を解消し、
洪水対策に貢献

現状

高潮はもともと起こっていない。
高潮がないのに高潮の防災効
果をいうのは論外。
大雨の時に満潮を迎えても、
潮位は河口から2kmまでしか
本明川の推移に影響を与えない。
諫早市街の防災に調整池は無効。

2 農地造成

地域で渴望した広大な農地
を造成する。

現状

二 年完了予定でした
が、二 三年に半分を農
地として利用を開始し、二
六年まで工期が延期。

当初から目的自体にも疑問
が投げかけられてきたが、
このようにギロチン後も調
整池や空き地が全く生かさ
れていないのが現状のよう
です。

水産資源への悪影響

堤防の外側の漁場で、タ
イラギ漁の不振、アサリの
死滅、ムツゴロウの激減、
赤潮の発生、異常高潮位(過
去五年平均より1 m以上
も上昇)による海苔養殖の
被害など、年を追うごとに
深刻の度を深めている。

デンマークからの視察

今年二月、デンマーク環
境エネルギー省のハンス・
スコット・モラー企画調整
局長が諫早湾の視察に訪れ
て、「このような風景は悲し
い。すごい金の無駄遣いだ。」
と指摘。

干拓の先進国だったデン
マークでは一九八六年から
埋め立てはやめ水門を開き、
堤防を切り開いて干潟に戻
しているとのこと。オラン
ダ・イタリアでも同様の湿
地再生が行なわれており、
日本の干潟破壊政策は世界
の潮流とまったく逆方向を
歩んでいる。



諫早湾の問題を調べていて、
自然がもつさまざまな機能を学
ぶことができたのと同時に日本
の公共事業っていったいなんな
んだろうという疑問が湧いた。
昔に計画した事業が、時代を
経て間違っているとかわかってい
ながらもどうしてやめることが
出来ないのだろう。これこそ税
金の無駄使いだ！ましてや大切
な自然を破壊してまで...

ピカチュウはいかが？

PLUSに並んだかわいい革製品
ピカチュウ・たればんだ・キー
ホルダーなどなど。これらのも
のは「はまゆう製作所」のみな
さんが作ったものです。気に入
ったものがあればどうぞ。



NOPPO PLUSに並んだ革製品